



夢をかたちに

2008~ 2009年度
国際ローターテーマ
夢をかたちに」

第2820地区
Weekly Bulletin

HITACHI SOUTH
ROTARY CLUB

例会場 要害クラブ TEL 0294-36-2020
例会日 毎週火曜日 12:00~ 13:00
事務所 日立市末広町 1-1-3 国分協同組合内
TEL 0294-36-5074 FAX 0294-37-2176
mail rotaso@iplus.jp
http://www.xyj.co.jp/hitachi/south-rc/



会長;星 勝治 副会長;木本 貴一
幹事;鹿志村 高道 会報委員;小林 英典 鈴木 幸一 高島 章行

19 平成 20年 11月 18日 (火) 本日のプログラム: 卓話 米山奨学会

次回予告 平成 20年 11月 25日(火)

プログラム: 卓話 / I T 情報委員会

例会報告

11月 18日 (火) 12:00 開会
弓野 博司 S A A 委員長



会長の時間

星 勝治 会長



本日はハルヨさんようこそいらっしゃいました。
ハルヨさんは米山奨学会を通しまして来日、工学博士の学位を修得致しました。
現在は日本原子力研究機構にお勤めになる大変優秀な方です。
本日はロータリー米山記念奨学会の出会いから現在まで仕事内容も含めてお話を頂きたいと思えます。
宜しくお願い致します。



幹事報告

高島 章行 副幹事



本日鹿志村幹事が所用でお休みの為、副幹事高島が報告いたします。
来週のプログラムは I T ローター情報委員会の卓話ですが「ひたち郷土かるた」について日立中央ロータリークラブ、パスト会長の深谷さんをお願い致します。
来年の日立地区 5 ロータークラブ合同新年会は 1月 9日(金) 17時から天地閣で行います。
以上です。

出席報告

鈴木幸一 委員長

会員数	出席	欠席	出席率	訂正	免除
35名	17名	18名	50%	%	3名

ニコニコBOX

白石 満義 委員長

ハルヨ君卓話御苦労様です。
星 勝治 榎村 観

ハルヨさんようこそ、お元気そうでなによりです。

白石 満義 石川 國博 弓野 博司
大森 孝之 高島 章行 小澤 興
岩崎 敬次 川崎 健輔 信太 克己
小林 英典 長山 行夫 白土仙三郎
木本 貴一 鈴木 幸一

昨日、庭で雪虫を見かけました。今年も冬が来る
ようです。
須田 晃

今回は大久保中PTAに多大なる補助金を頂き、
感謝申し上げます
大久保中学校PTA 吉澤 孝夫

😊 本日も多くの方からニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました 😊

本日計 22,000円	累計額 526,000円
-------------	--------------

大久保中学校PTA会長の吉澤孝夫様

大久保中学校主催(文部科学省認定)の親子ふれあい
ミーティング協賛のお礼と報告。

本日のプログラム: 米山記念奨学会卓話

榎村 観 委員長



本当は米山奨学会の卓話は先月でしたが、ハルヨ君が原研のなかである部門の責任者をやっております。忙しかったという事で今日に延ばしてもらいました。今日は私も心配しておりましたが仕事も一段落し、休みを取ってきたとの事で申しわけなく思っております。紹介しますと彼は現在38歳、19歳の時日本に来ましてもう19年たって38歳ですね、日本と自分の国と丁度同じ年だという事です。米山で先程会長からお話あったように世話になってもその後音沙汰なしという人もおりますが、ハルヨ君はカウンセラーだった井上会員の所に毎月訪れて日本のお父さんという感じでやっておりますし、一昨日の七五三にはお嬢さんのお祝いもちゃんとやったとの事でした。来年にはお二人目のお子さんが生まれるという事で素晴らしい家庭を築かれる立派な人だと思います。資料を配りますので参考にしながら日本への思いを含めお話を伺いたと思いますので宜しくお願い致します。

ステファヌス・ハルヨ・チョンドロ君
(1995~ 1997年当クラブ受入米山奨学生)



私はインドネシアの田舎町、プロゴリング市という所で生まれ育ち私立の学校へ行き、今から約20年前に卒業いたしました。私の住んでいた所は年中暑くて、あるのが雨季と乾季で今頃は雨季になっております。マンゴーとぶどうの産地で有名です。3つの国営の砂糖工場と1つの製紙工場があり父がその製紙工場に勤めております。その工場が経営していた高校へ行き、高校卒業時に国の奨学金制度に応募し思いがけず受かりました。その時には何故かアメリカやイギリス、ドイツではなく日本を留学先を選びました。むかし日本に研修に来た事のあるおじの影響もありそのほかにもなにかあるのではないかという思い、私はキリスト教徒ですので神のお導きもあったのかも知れませんが今思うと日本は自分に一番合うし正しい選択をしたのかなと思っております。数ヶ月で日本語を勉強し1990年日本に来ました。日本語を勉強したつもりでも日本語がうまく理解できず言いたい事も日本人には分かってもらえず結構大変でした。徐々に日本語も分かる様になりテレビも楽しめるようになりました。来た当時は、昔ながらの家や着物を着ている人が多いのかなと思っておりましたが、最初東京に来ましたのでびっくりいたしました。一年間日本語を学び茨城に来たときもショックでした。普通の生活で勉強した日本語が通じなかったからです。茨城弁との出会いです。大学一年生の授業はついて行くのがやっとでした。二年生からは大丈夫でした。自慢になりますがトップの成績で卒業できました。Aが多いという事よりも単位を他の学生より多くとった為でした。その後大学院の修士課程、博士課程では学費の免除をいただけ5年間学費を納めずに済みました。ただ修士課程に進む時に困った事に国からの奨学金がなくなり色々調べた結果、ようやくロータリー米山記念奨学金に受かり2年間こちらの日立南RCにお世話になりました。当時2年間

カウンセラーになって頂いたのが志お屋の井上さんでした。井上さんと毎月の例会に出席するのが楽しみでした。その後、博士課程に進学した自分が伊藤園の本庄奨学財団より援助をもらって勉強をすすめておりました。博士課程中は日立北RCのローターアクトが設立されて自分も参加しましたが30歳過ぎた為、退会致しました。学位習得後は3年間茨城大学工学部で非常勤研究員、その後つくばの高エネルギー研究機構で研究員、その間利用するだけではなく装置の管理、設計をするようになりました。その後、2年もたないうちに原研に移りました。現在はJ-PARKを担当しております。(中略 詳細は配布資料参照)米山奨学金を受けられた事は私にとってとても意義深いものでした。カウンセラー制度がある奨学金制度は米山だけでしたが、カウンセリングというよりは学生の精神的な支えとなり私の場合には精神的な教育にもなりました。メンバーの皆さんやカウンセラーとカウンセラーの家族とのふれあいをとって大学では学ぶ事のできなかった事が沢山あって、当時頭の固かった私にとっては、少なから日本人の考え方を理解し社会に溶け込む事ができたと思います。これがなければ今の自分はないかなと思っております。米山奨学生になった国の友達も結構おります。国に帰った者もおりますし、日本に残り民間企業や大学関係で頑張っている者もおります。なんと自分の同期で千葉大学の助教授になっている者もおります。こういった事で米山奨学生になった人達は、頑張っておりますので今後とも宜しくお願い致します。

